

**第五期長期計画・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート**  
**第8回実施分（平成27年1月22日開催） 自由記載欄**

**○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。**

- ・インクルーシブ教育については、やはり地域をふくめた全体の理解が進んだ上で、成り立つ教育だと思いますので、子どもへの施策に加えて、地域への浸透をふまえた教育？公開講座のような取りくみにつながることを期待しました。
- ・インクルーシブ教育については、それぞれの違いを認め合い、理解していくことが大前提だと思う。この違いを認め合うという部分が非常に弱い。
- ・行政が作成した案に対して各委員（スペシャリスト）が多く本質の問題の話し合いがされていないのか残念です。再度住民の意見を聞くワークショップ等の開催を考えて欲しい。
- ・事務局の、桜堤児童館の件に対する説明に大変びっくりして、あきれてしまいました。去年11/27の説明会以降、市からは何の説明もなく、利用者から何も意見を伝える機会もないまま、策定委員や市会議員に“市にとって都合よく解釈した説明”ばかりしていますね。問題だと思います。
- ・桜堤児童館転用について、討議要綱からはずし、市民や議員と話し合い中と事務局が発言していたが、市民利用者へは11/27の説明会以降何もないので、びっくりしました。
- ・策定委員が発言された中高生の居場所もやはり行政が考えるべき、一般的に児童館は中高生にもカバーされています。
- ・児童館について議会と進めている話って何ですか？昨年11月の文教委員会以降進んだことを知りたいです。
- ・策定委員が行政の書いた討議要綱を上書きしているだけと言っているの、市民にもそれが分かるようにして下さい。
- ・論争になっている問題や、意見の対立が生まれている点をこそ、しっかり議論をしていただきたいと思います。その中から、普遍的な課題が抽出されてくるのではないのでしょうか。

**○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。**

- ・教育センター構想に関連するが、子ども目線に立った教育計画づくりやコーディネートがこれからの教育施策の柱になると思う。公共民間の両面を持った役割（教育版社会福祉協議会のようなもの）が重要となる。「学校の問題を学校に相談しづらい」などの子どもの声があった。
- ・策定委員のみなさんが納得されていないものを市民へ策定委員会で決まった討議要綱として提示するのはどうなのでしょう。
- ・なぜ策定委員会で児童館についての議論をさけるのか、さっぱりわかりません。
- ・策定委員の方々が熱心にとり組んで下さっているのが、毎回強く伝わってきています。だからこそ、委員の方々の名前や肩書に迷惑にならないような、市民（公募ではないごく一般の市民）の意見も取り入れた真の「市民が作った五長」にしていきたいです。

- ・策定委員会ってあまり議論しないんですね。
- ・がんばって作られた討議要綱ですが、おそらく市民のほとんどは読まないと思う。どうすれば読んでもらえるか検討してみたいはかがでしょうか。読まれていないということは市民のチェックを通過していないということだし。
- ・確かに、もっと市民的委員会であってほしいと思います。行政の流れにのった委員会では、大変にもったいないと思います。行政の方が「え〜?!」とのけぞるような問題提起や議論を期待したいです。
- ・基本施策④道路ネットワークの整備。24年～26年施策の実績 調整計画の中では外環道路Ⅰ、Ⅱ、全く話がない。市に於いても外環道路特別委員会の設置等により、住民とともに（東京都話し合いの会）の話し合いの中で今回の調整計画に入っていないのは残念です。市民意見をどの様に市政に反映されているのかの説明を聞きたい。

(※文字及び文章は、原則としてアンケートに記入されていた原文のまま記載していますが、  
個人名等一部の表記を変更しています。)